

自転車ヘルメット大調査

かぶって安心! もっと広げられヘルメット

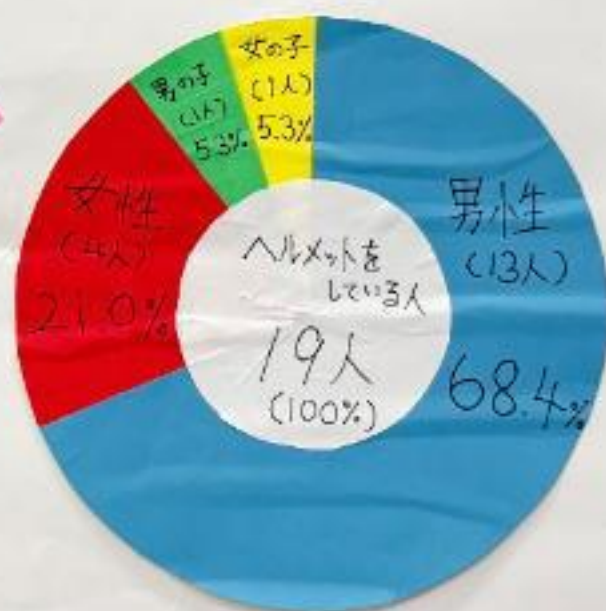
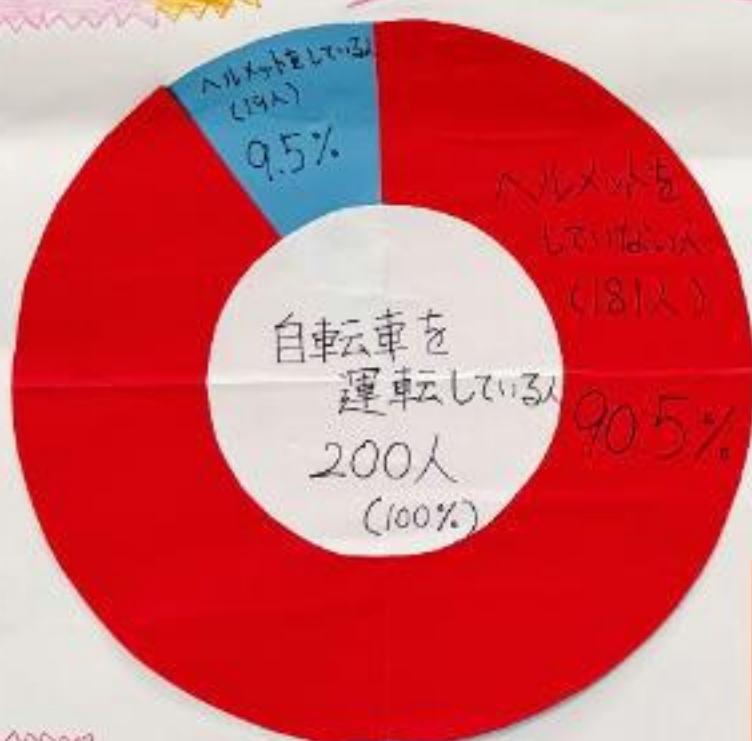


調べようと思いきがけ

広島県はさつのホームページで令和6年(2月末)の広島県内で自転車に関係した交通事故を調べると全部で895件あって、そのうち車との事故が823件ありました。車とぶつかる大きなけがになるので、とても怖いと思いました。

令和5年4月1日から道路交通法が変わって自転車に乗る人はどの年代でもヘルメットをかぶるように努力しようという決まりになりました。令和6年7月にはさつちょうが行った自転車乗車時のヘルメット着用率調査結果では、広島県は全国平均の17%と比べ11.3%でした。令和5年7月の6.6%と比べるとふたつに増えています。実さいに自転車に乗っている人を見ると、ヘルメットをかぶっている人が少ない感じがします。本当にどれくらいの方がヘルメットをかぶっているのか言聞べることにしました。

調べた結果



調査日時 令和7年(2025)8月18日(日) 8時45分～9時15分 天気 晴
 調査場所 駅前大橋南詰め交差点西側 (広島市南区京橋町)
 調査たいしょう 通行する自転車の運転者のヘルメット着用率を調べる
 小学生以下も1人で通学している人 (子ども乗せ自転車に乗っている人はいく)
 調査人数 200人

まとめ

今回の調査で、ヘルメット着用率は9.5%とまだ低いことがわかりました。着用している人は男性が多く、小学生以下の運転者だった2人は全員ヘルメットをかぶっていました。夏休み中の調査だったので中学生・高校生は少なかったです。どうして女性の着用率が低いかわ、中高生の通学時間の着用率も、これから言聞べてみたいです。

これから、ヘルメット着用率を上げるために、学校や会社など私たちの身近な場所で自転車乗車時のヘルメット着用が自分の安全につながることをよびかけていくことが大事だと思います。